

●炭焼き体験の試行 無事に空気遮断 29 日 10 時 排煙直近の温度 270 度となる 太田、大村氏
木炭製作で最も注意を払う場面が最終作業の空気口の締め切りです。26 日に着火を行ったのが午前 9 時頃でした。この時間から焚口で絶やすことなく燃やし続けました。特に 2 年間以上使用して
いなかったの、火の回りが順調に行くかどうかでした。とにかく煙突から煙が勢いよく排出される
のを見て、よし、これはいけると強く確信が出来ました。そして燃やし続けると黒煙がモクモク
と続きました。3 時間を過ぎたことから煙の色が変わり始めてきました。しかし窯の温度は手で触
ってみても大きな変化はなく、なかなか手触りでは上昇は感じられませんでした。夕方 5 時ごろに
なって火の守をしてきた皆さんも疲れが見え始めました。根気が薄れ始めてきました、とにかく 8
時ごろまで頑張ろうと励ましあって白い煙がもうもうと勢いが増して、だれの目にも調子が本格的
だとわかるようになり、19 時 30 分に焚口の締め切りを行い、空気補給口を縮小、そして煙の排出に
気を付けながら温度の上昇に注目しました。翌日もその翌日も排煙は勢いよく続ききました。窯の
壁の温度も手触りで定温が伝わってきていました。着火から 4 日目になると排煙はかなり透明にな
り黙々と出ていた量も目に見えて少なくなり、だれの目にも終焉に近づいて来ていることが明
らかになり、排煙口の温度が 270 度を示し最高温度になっていました。10 時に太田さんと大村さ
んが最終判断をして空気口の閉鎖を行い、燃焼がストップしました。以後余熱が放出され、窯の温
度が平常に戻るのを待つことになりました。この時期平年だと雪が舞う頃なのですが、今年は暖冬
とのことで暫く時間がかかりそうです。

●炭の窯だし実施 2 月 8 日(土) 午前 9 時に集合 段ボールに 5 kg ずつ詰め込み商品化する
空気を遮断して 10 日が経過すれば大丈夫と判断して、2 月 8 日(土)の午前 9 時に集合して炭の窯
出しを行います。まさに素人集団が初めて天塩にかけ焼いた木炭が誕生することになります。窯出
しは打田薪炭組合の皆さんにお世話になって多く経験してきましたが最初から一貫して見守った
のは最初の経験です。どのようになって、仕上がってくれているのか非常に楽しみです。何でもな
い代わり映えしない真っ黒な木炭ですが、2020 年生産のこの炭は一味も二味も違った燃え方をし
てくれるものと思います。里山の会にご協力寄せていただいていた数多くの皆さんのご参加を頂き
喜びを分かち合いたいと思います。上手に出来上がっていましたら記念にお分けしたいと思います。

●5 日の事務局会議は 10 人の出席がありました

この日の一番の議題は夏原グラントの助成金申請の内容検討でした、7 日には申請用紙の締め切り
日になっていますので、土壇場での打合せでした。これまで 3 年間連続して助成金の交付を受け、
里山農園の充実に使わせていただきました。イノシシ防護柵の補修、洞穴ルートの設置や補修、教
育棟の掲示板の設置などに役立たせてきました。今回はこうした網的ではなく 3 年間に助成金を活
用してきた上に立って、ステップアップするための助成金ということで、組織基盤の確立や、スタ
ッフの力量の引き上げ等、事業の内容充実を図る一段高いミッションやビジョンに迫るための助成
金というものなので、これまでとは一味も二味も高いレベルの基準が要求されるものです。11 月 9
日には申請内容の説明講習会が行われ、播川さんと大村さんが出席して学んでいただきました。こ
の助成制度は申請額に対して満額もあるが、減額助成もあるというかなり厳しい制度でもあります。
これまで里山の会は厳しい審査結果、満額を頂くことはありませんでした。今回は夏原グラントさ
んから満額の助成金額の返答が届く様に願っています。ねらいは普賢寺地域の皆さんとの連携協力
関係が作り上げられたらと焦点を合わせています。

●地域説明会の日程確定 多くの皆様のご来場をお願いします

三年目になり、今回の地域説明会は山城地域の「市域」を対象に2巡目の開催となります。2月7日城陽市の文化パークを皮切りに行います。展示準備は9時から大急ぎで飾り付けを行います。そのためにお手伝いさんを求めています。「木津川はどんな川」は30枚、「山城の歴史」は30枚、「中聖牛関係」は20枚。その他15枚のパネルが用意できています。会場のスペースに合わせて内容を変更したりします。そして今回新しく「木津川河川レンジャーコーナー」を新設して内容の充実を図る工夫をしました。また、これまで地域の隠れた名所を訪ねてきましたが、今回はこれまで里山の会が活動や調査についてマスコミが放映してくれた動画やなど8本分を用意して、参加者のリクエストに従って上映することになりました。魚捕り、蛇籠作り。ハイキングコースの解説、ヤマトサンショウウオの紹介など魅力いっぱいのスライドが準備できました。これをご覧になっていただき里山の会についての活動へのご理解が深まればと思います。観覧無料です。10時開会で15時閉会の予定です。気楽にお越しください。

●5日の昼間に地域説明会案内のハガキを全会員さんに郵送しました。どの日でもどの会場にお越し頂いても結構です。

●京都木津川マラソン大会が無事に終了しています

これまで実行委員会との折衝で折り合いがつかず組織として協力が出来なくなりました。しかしこれまでの関係で、ご協力をボランティアで応援をされた会員諸氏も多くおいでになりました。寒い朝早くから準備などでのご奮闘ご苦労様でした。

●今回夏原グラントへの助成申請は、これまで3年間にわたって助成金を交付いただけてきました

今回はこれまでの活動の上に立って、イベントの継続と更に明らかになっている組織的課題(スタッフの力量アップ等)への挑戦への取組、また里山の会のミッションやビジョンの共有とそれへの挑戦が求められているものです。これまで里山の会ではミッションやビジョンについて深く議論を重ねてこなかった弱点が明らかになりました、今回の申請書作成に当たって気づきました。25周年を前に大いにミッションやビジョンについて再認識の機会を設けて行きたいと思います。いいチャンスを与えられました。ありがとうございました。

●昨日5日の午後、寒風の吹きすさぶ中で木津川堤防の草刈りをしました

ハンマーモア2台で、1時間で済むところが2時間半以上かかりました。葛の繁茂と、古いロープが刈り歯に巻きついて大変苦労をしました。これで木津川希少種植物調査管理業務で指示された箇所草刈りは全て終了しました。大苦戦でした。大変ご苦労様でした。